

■公認バスケットボール指導員（JBA公認C-2級コーチ）

養成目的 バスケットボールの技術・戦術の基礎的・導入的指導にあたる指導者を養成する。

役割 地域スポーツクラブ、スポーツ教室等の指導、スポーツ少年団、中高の部活動指導にあたる。

受講条件 受講年度の4月1日現在満18歳以上（高校生不可）で、バスケットボールの指導にあたっている者。あるいはこれから指導者になろうとする者。

カリキュラム 共通科目35h（共通Ⅰ） 専門科目40h

受講料 共通科目 21,000円 専門科目 14,700円

登録料 基本登録料（4年間）10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）  
団体登録料（1年間）1,500円（日本バスケットボール協会へ納付）

更新のための義務研修 更新時から遡って過去4年間に日本バスケットボール協会または日本体育協会が認める研修会を受けるなどして、2ポイント以上獲得していること。※研修ポイントの詳細は別途定める。

担当委員会 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会ライセンスグループ

区分	カリキュラム内容	時間数				
		集合	その他	計		
1	基礎理論	①	バスケットボールの特性&ルールの理解	2h	—	2h
		②	指導者の役割	1h	—	1h
		③	育成年代特有の指導指針	3h	—	3h
		④	コーチングフィロソフィー	—	2h	2h
		⑤	練習計画	—	2h	2h
		⑥	フィジカルトレーニング	—	2h	2h
		⑦	外傷予防	—	2h	2h
		⑧	技術・戦術論	—	2h	2h
		計	6h	10h	16h	
2	実技	①	遊びを使った導入法	2h	—	2h
		②	得点を取る技術の指導（シューティング）	2h	—	2h
		③	ボールコントロールの指導	2h	—	2h
		④	ミニゲームを使った指導	2h	—	2h
		計	8h	—	8h	
3	指導実習	①	シュートの指導	2h	—	2h
		②	1対1の攻撃の指導①（with ball の指導）	2h	—	2h
		③	1対1の攻撃の指導②（without ball の指導）	2h	—	2h
		④	1対1の攻防の指導③（ポストアップ、コンタクト）	2h	—	2h
		⑤	協力してシュートチャンスを作る指導①（2対2）	2h	—	2h
		⑥	協力してシュートチャンスを作る指導②（2対2、3対3）	2h	—	2h
		⑦	トランジションの指導（ディフェンス、オフェンス）	2h	—	2h
		⑧	マンツーマンディフェンスの基礎	2h	—	2h
		計	16h	—	16h	
		30h	10h	40h		

■公認バスケットボールコーチ（JBA公認B級コーチ）

- 養成目的 全国レベルの競技者の育成・強化にあたり、全国ブロックエンデバーのリーダーとなる人材を養成する。
- 役割 全国レベルの競技者を対象に指導ができ、全国ブロックエンデバー指導者の中心的な役割を担う。
- 受講条件 受講年度の4月1日現在満22歳以上で、都道府県バスケットボール協会、日本バスケットボール協会所属の連盟等により推薦された者（免除については別途定める）。
- カリキュラム 共通科目152.5h（共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ） 専門科目60h
- 受講料 共通科目 18,900円 専門科目 10,500円
- 登録料 基本登録料（4年間）10,000円（初回登録時のみプラス3,000円）  
団体登録料（1年間）2,500円（日本バスケットボール協会へ納付）
- 更新のための義務研修 更新時から遡って過去4年間に日本バスケットボール協会または日本体育協会が認める研修会を受けるなどして、2ポイント以上獲得していること。※研修ポイントの詳細は別途定める。
- 担当委員会 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会ライセンスグループ

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その	計
1	① コーチングフィロソフィー①(競技者育成の目標)	2h	—	2h
	② コーチングフィロソフィー②(役割、法的責任)	2h	—	2h
	③ 育成年代特有の指導指針	2h	—	2h
	④ 練習計画①(講義)	2h	—	2h
	⑤ 練習計画②(演習)	2h	—	2h
	⑭ 練習計画③(立案)	—	2h	2h
	⑥ 情報の分析方法・活用方法①(講義)	2h	—	2h
	⑦ 情報の分析方法・活用方法②(演習)	2h	—	2h
	⑧ コンディショニング・メディカル	2h	—	2h
	⑨ フィジカルトレーニング	2h	—	2h
	⑩ 技術・戦術・戦略論①	2h	—	2h
	⑪ 技術・戦術・戦略論②	2h	—	2h
	⑫ 技術・戦術・戦略論③	2h	—	2h
	⑬ 競技規則とレフリーとの連携(世界の傾向-判定、技術)	2h	—	2h
	⑮ 資格保有者の役割(地域での貢献)	—	2h	2h
	計	26h	4h	30h
2	① 基本技術のコーチング	2h	—	2h
	② 1対1の攻防のコーチング	2h	—	2h
	③ チームオフェンスのコーチング	2h	—	2h
	④ チームディフェンスのコーチング	2h	—	2h
	⑤ トランジションのコーチング	2h	—	2h
	⑥ 育成年代特有のコーチング(U-10,U-12)	2h	—	2h
	⑦ 育成年代特有のコーチング(U-14,U-16)	2h	—	2h
	⑧ オフェンスの個人技能の指導法	—	2h	2h
	⑨ ディフェンスの個人技能の指導法	—	2h	2h
	⑩ チームオフェンスの指導法	—	2h	2h
	⑪ チームディフェンスの指導法	—	2h	2h
	⑫ トランジションの指導法	—	2h	2h
	⑬ ゲームの取り組み①:ゲームプラン、ミーティング	—	2h	2h
	⑭ ゲームの取り組み②:タイムアウト、交代、ハーフタイム	—	2h	2h
	⑮ ゲームの取り組み③:達成度の評価と練習課題への落とし込	—	2h	2h
	計	14h	16h	30h
		40h	20h	60h

■公認バスケットボール上級コーチ(JBA公認A級コーチ)

- 養成目的 日本代表チーム(各カテゴリー)の育成・強化、ならびに企画・運営などを担うことができる指導者を養成する。
- 役割 各カテゴリーの代表チームの指導者として強化・支援を担当する。ナショナルチームの帯同監督、コーチングスタッフ。
- 受講条件 公認バスケットボールコーチ(JBA公認B級コーチ)のうち、日本バスケットボール協会が選抜した者。
- カリキュラム 共通科目192.5h(共通Ⅰ＋Ⅱ＋Ⅲ＋Ⅳ) 専門科目40h
- 受講料 共通科目27,300円 専門科目 16,800円
- 登録料 基本登録料(4年間)10,000円(初回登録時のみプラス3,000円)  
団体登録料(1年間)3,500円(日本バスケットボール協会へ納付)
- 更新のための義務研修 更新時から遡って過去4年間に日本バスケットボール協会または日本体育協会が認める研修会を受けるなどして、2ポイント以上獲得していること。※研修ポイントの詳細は別途定める。
- 担当委員会 日本バスケットボール協会 テクニカル委員会ライセンスグループ

区分	カリキュラム内容	時間数		
		集合	その他	計
1	① バスケットボール特論	—	2h	2h
	② 技術・戦術・戦略特論①	2h	—	4h
	③ 技術・戦術・戦略特論②	2h	—	4h
	④ 技術・戦術・戦略特論③	2h	—	2h
	⑤ 技術・戦術・戦略特論④	2h	—	2h
	⑥ コーチング・コーチング心理学	2h	—	2h
	⑦ コーチ特論(コーチ規範・コーチ倫理)	2h	—	2h
	⑧ チームマネジメント	—	2h	2h
	⑨ ゲームマネジメント	2h	—	2h
	⑩ 育成年代特有のコーチング	2h	—	2h
	⑪ 海外遠征・海外最新事情	2h	—	2h
	⑫ ライフスキル・キャリア教育	—	2h	2h
	計	18h	6h	24h
2	① コミュニケーションスキル実習①	2h	—	2h
	② コミュニケーションスキル実習②	2h	—	2h
	③ プレゼンテーション実習(ゲーム分析結果の解説)	2h	—	2h
	④ プレゼンテーション実習(映像の加工・編集)	2h	—	2h
	⑤ 指導法の開発①	—	2h	2h
	⑥ 指導法の開発②	—	2h	2h
	⑦ 指導法の実際①	2h	—	2h
	⑧ 指導法の実際②	2h	—	2h
	計	12h	4h	16h
	30h	10h	40h	

## 《専門科目における講習・試験の免除》

1. JBA公認D級コーチは、公認バスケットボール指導員(JBA公認C-2級コーチ)の専門科目の講習・試験の全てを免除する。
2. 下記の一定の実技、指導実績を有する者については、指導員(JBA公認C-2級コーチ)及びコーチ(JBA公認B級コーチ)の専門科目の講習と試験の一部を、指導員については都道府県バスケットボール協会指導者育成委員会が、コーチについては日本バスケットボール協会指導者育成委員会が審査した上で、免除する。その際、講習料に関する免除は行わない。
  - (1) 日本代表チームで競技実績を有する者は、指導員(JBA公認C-2級コーチ)の実技部分の講習と試験の免除対象者となる。
  - (2) 日本代表チーム(各カテゴリー)でヘッドコーチとして指導実績を有する者は、指導員(JBA公認C-2級コーチ)の指導実習及びコーチ(JBA公認B級コーチ)の実技・指導実習部分の講習と試験の免除対象者となる。
  - (3) 上記(1)(2)と同等の実績を有する者は同じく免除対象者となる。
3. 下記の者については、日本体育協会と日本バスケットボール協会が内容・程度を審査の上、免除項目を決定する。
  - (1) 国際大会等でヘッドコーチとして優秀な成績を収めた者で、コーチとしての資質、能力が優れていると認められた者
  - (2) 国外で相応の講習を受講して試験に合格し、バスケットボールコーチライセンスを保有している者
  - (3) JOCなどの派遣により一定期間以上、バスケットボールコーチとして海外研修を修了した者
4. JOCが主催するコーチアカデミーを修了した者は、上級コーチ(JBA公認A級コーチ)の講習・試験の全てを免除する。

## 《競技・資格別の指定研修等について》

1. バスケットボール競技資格者は、日本バスケットボール協会ならびに日本体育協会が主催する研修会等に参加し、資格を更新する際に必要なポイントを獲得していなければなりません。
2. ポイントの有効期限は4年間とし、更新の際に必要なポイントは2ポイントです。
3. 研修会のポイントは以下のとおりです。
  - (1) 1.5時間(90分)の講習会: 1ポイント
  - (2) 3時間の講習会: 2ポイント
  - (3) JBA又は都道府県バスケットボール協会が指定する試合観戦等及びレポート提出: 1ポイント
4. 研修会の他、次の要件を満たすコーチは、ポイントが加算されます。
  - (1) 各カテゴリー日本代表チームのコーチングスタッフ: 1ポイント/年
  - (2) エンデバーコーチングスタッフ: 1ポイント/年
  - (3) コーチ養成講習会及びリフレッシュ研修の講師: 1ポイント/1回